

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 3 月 20 日 (2014.3.20)

【公表番号】特表 2012-508434 (P2012-508434A)

【公表日】平成 24 年 4 月 5 日 (2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報 2012-014

【出願番号】特願 2011-535003 (P2011-535003)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/14 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 1 月 28 日 (2014.1.28)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 5】

とりわけ、アクリル酸塩、とりわけメタクリル酸塩および／またはメタクリル酸メチル、シリコン、エポキシド、ポリカーボネート、およびゴムのような天然樹脂、ならびに前記材料の前駆物質および／または組合せにより形成される群からの一つまたは複数の材料を、光線出力層を形成するためにスプレーコーティングすることができる。このために、上に記載したような方法ステップの前に、モノマー、オリゴマーおよび／または、溶液、懸濁液またはエマルジョンにおいてすでに部分的に架橋された前記物質のポリマーを有する流体を準備することができる。加えて前記材料は、流体または固体で流体内に存在することができる、とりわけ好ましくは光、とりわけ紫外線および／または熱および／または化学的プロセスによって架橋可能かつ硬化可能である。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有機発光構成素子の製造方法において、

A) 動作時に電磁光線を放射するのに適した少なくとも一つの有機機能層 (3) と透明層 (11) とを備える有機発光層列 (10) を準備するステップと、

B) 表面構造 (21) を備える透明光線出射層 (20) を、少なくとも一つの機能層 (3) とは反対側の、透明層 (11) の表面 (12) にスプレーによって施与するステップであって、この際、互いに溶け合わない少なくとも二つの材料 (61, 62) を施与するステップと

を有する方法。

【請求項 2】

有機発光構成素子の製造方法において、

A) 動作時に電磁光線を放射するのに適した少なくとも一つの有機機能層(3)と透明層(11)とを備える有機発光層列(10)を準備するステップと、

B) 表面構造(21)を備える透明光線出射層(20)を、少なくとも一つの機能層(3)とは反対側の、透明層(11)の表面(12)にスプレーによって施与するステップ、とを有し、

方法ステップ B は、

B1) 第1の材料(61)をスプレーする部分ステップと、

B2) 第2の材料(62)を第1の材料(61)の上にスプレーする部分ステップとを含む

ことを特徴とする方法。

【請求項 3】

第1の材料(61)と第2の材料(62)は互いに溶け合わない、請求項2記載の方法。

【請求項 4】

方法ステップ B で、光線出力層(20)を個々の水滴(6)の形にスプレーし、

水滴(6)が透明層(11)の表面(12)上で個別に、光線出力層(20)を形成しながら乾燥する、請求項1から3までのいずれか一項記載の方法。

【請求項 5】

方法ステップ B で、架橋可能な材料(61)が、液相、溶液、懸濁液またはそれらの組合せで水滴(6)の形で施与され、材料(61)の乾燥(63)および/または架橋によって光線出力層(20)が形成される、請求項4記載の方法。

【請求項 6】

水滴(6)は、乾燥時にプリズム形、ピラミッド形、半月形、またはそれらの組合せの形状の残滓(7)を形成する、請求項4または5記載の方法。

【請求項 7】

方法ステップ B で、アクリラート、シリコーン、エポキシド、ポリカーボネート、天然ゴムにより形成される群からの一つまたは複数の材料(61, 62)がスプレーされる、請求項1から6までのいずれか一項記載の方法。

【請求項 8】

方法ステップ B で、散乱粒子(8)を有する材料(61)がスプレーされる、請求項1から7までのいずれか一項記載の方法。

【請求項 9】

方法ステップ B で、光線出力層(20)が側方で構造化され、透明層(11)の表面(12)上に施与される、請求項1から8までのいずれか一項記載の方法。

【請求項 10】

動作時に電磁光線を放射するのに適した少なくとも一つの有機機能層(3)と透明層(11)とを備える有機発光層列(10)と、

少なくとも一つの機能層(3)とは反対側の透明層(11)の表面(12)上にある透明光線出力層(20)とを含む有機発光構成素子であって、

光線出力層(20)は、個別に乾燥された複数の水滴(6)の残滓(7)から形成された表面構造(21)を有し、

光線出力層(20)は、第1の材料(61)を備える第1の層(22)と、第2の材料(62)を備える第2の層(23)を有する構成素子。

【請求項 11】

残滓(7)は、1マイクロメートル以下の大きさを有する、請求項10に記載の構成素子。

【請求項 12】

残滓(7)は、プリズム形、ピラミッド形、半月形、またはそれらの組合せの形状を有

する、請求項 10 または 11 記載の構成素子。

【請求項 13】

残滓 (7) は、0.1 以上の高さ対底面積比を有する、請求項 10 から 12 までのいずれか一項記載の構成素子。